

# ◆「にしきいと」で作るアクセサリ 2◆



京都の和装に使われていた金糸の技法を生かし、丁寧に作り上げた日本製の手刺繍用ラメ糸です。

【「にしきいと」の他に必要なもの】

- 刺しゅう布 ●刺しゅう針 ●アクセサリ用土台 ●はさみ
- 縫い糸 ●えんぴつ ●くるみボタン (または厚紙とキルトわた)
- 接着剤 ●クリップまたはせんたくばさみ

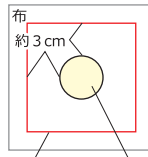
株式会社ルシアン  
<http://www.lecien.co.jp>  
 お客様センター  
 TEL 06-4390-5518  
 平日 9:00 ~ 17:30(土・日・祝は除く)

【見本作品】アクセサリ用の土台は、手芸店やデコ用品取扱店でお買い求めください。



- 〈使用布〉
- ・ミラー、楕円ブローチ : COSMO ジャバクロス細目
  - ・リング : アイダ 18 カウント
  - ・ピンブローチ、くるみボタン : COSMO ジャバクロス 65SF
- design/ 糸音

## 1 布を準備します



カットする くるみボタン (または厚紙とキルトわた)

- 1 刺しゅうする布をアクセサリ用土台の大きさに合わせて選びます。16カウントもしくは、18カウントのクロスステッチ用布がおすすめです。
- 2 お好みのアクセサリ用土台の大きさに合わせたプラスチック製のくるみボタンを布の中心に置き、周囲に約3cmの縫い代をとってカットします。  
※合うサイズのくるみボタンがなければ、厚紙とキルトわたで代用できます。

## 2 糸を準備します

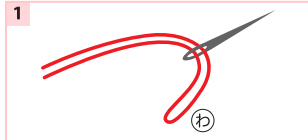


糸を約50cmの長さに切ります。

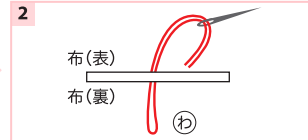
\*見本作品は2本どりで刺しゅうしています。「にしきいと」は糸端が割れやすいため、【ループメソッド】で刺しはじめましょう。

### 〔刺しはじめ/ループメソッド〕

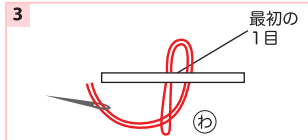
2本どりや4本どりなどの偶数本どりで刺しゅうする場合のみ、有効な方法です。



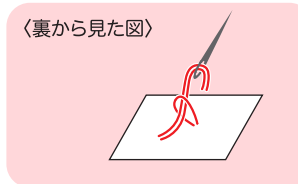
糸を2つ折りにし、針に通します。(2本どり)



布の裏から表へ最初の1目を刺し、㊦が抜けない程度に糸を引きます。

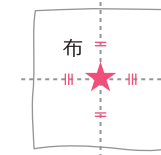


表から裏へ刺したあと、㊦の部分に針を通して糸を固定します。



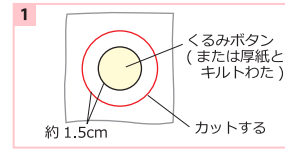
〈裏から見た図〉

## 3 クロスステッチをします

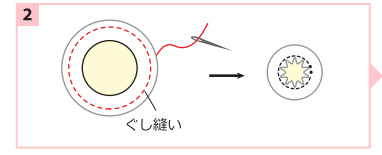


左図のように中心を決め、外へ広がるように刺し進めます。

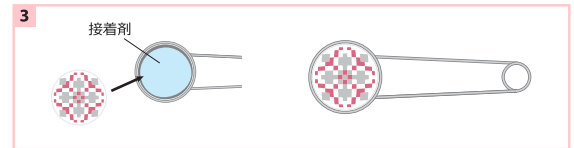
## 4 仕立てます



刺しゅうをした布の裏側にくるみボタン(または厚紙とキルトわた)を置き、周囲約1.5cmのところに印をつけ、カットします。



1の布端から約0.5cmのところを縫い糸でぐし縫いし、糸を引きしぼったあと、玉止めをします。



アクセサリ用土台に接着剤を塗り、2を貼り合わせます。

## クロスステッチ図案

- 28 : 桜(さくら)
- ▲ 33 : 銀色(ぎんいろ)

※すべて2本どりで刺しています。  
 ※上記に記載している「にしきいと」の色番号は、見本作品で使用したものです。  
 お好みのカラーでアレンジしてください。

